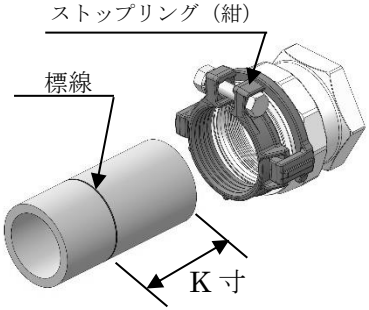
SKX®（中口径）　施工手順（塩ビ管用）

①パイプ挿入量記入

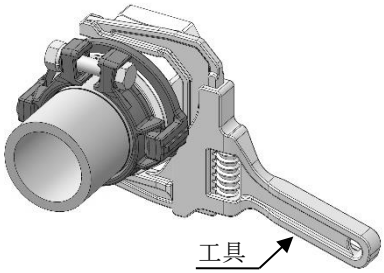
パイプ挿入量（K 寸）を測り、標線を記入して下さい。
分解せずにそのまま標線まで挿し込んで下さい。



注1)　・パイプ切断のカエリは取り除いて下さい。
・滑剤の塗布は不要です。
・管止めがある場合は、管止めから3mm以上あけて施工して下さい。

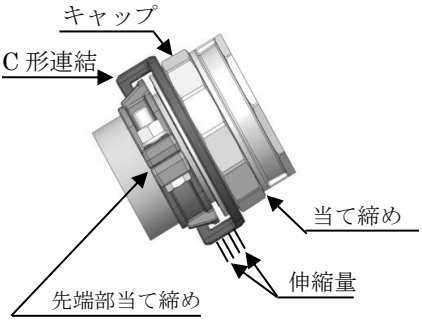
②キャップ本締め

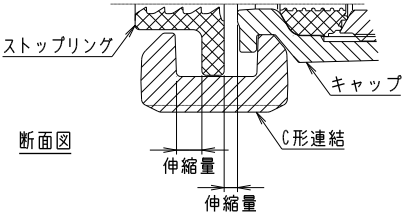
標線とストップリングの端面を合わせた状態で、キャップを手締めしてパイプを固定した後、レンチ等の工具で、**キャップを当て締めして下さい**。



③ストップリング本締め

C形連結を中心方向に**押えながら、ストップリングを締めやすい位置**にして下さい。
両端に伸縮量を保った状態で、**ストップリング先端部を当て締め**して下さい。





注 2)ストップリングは当て締め後、さらに締め付けると破損などの不具合が生じることがあります。
注 3)管とストップリングが直角になるように締め付けて下さい。
注 4)再施工時は再施工手順書に従って下さい

④施工完了・施工手順チェックシートへの記入

キャップとストップリングの**締め忘れのないように確認**を行って下さい。

≪管の取り外し≫

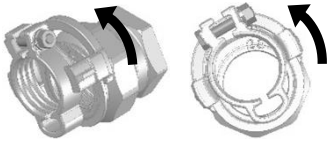
・ストップリング締付ボルト・ナットとキャップを**緩めるだけ**で管と**分離可能です。(分解不要)**

管 呼び径	SR 呼び径 (紺)	本体・ キャップ 呼び径	K (mm) ＋10/－0	キャップ (参考締付トルク N･m)		ストップリング (参考締付トルク N･m)		六角 対辺
65	V 65	65	80	当て締め	(30)	当て締め	(25)	19
75	V 75	75	85		(45)		(20)	
100	V 100	100	90		(70)		(35)	

SKXストップリング（SR）交換手順

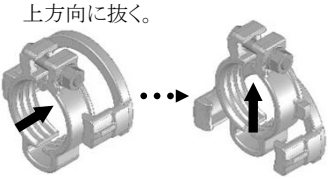
①C形連結取り外し

C形連結の一方を支点とし、他方をプライヤー等で回し、取り外す。



②ストップリング取り外し

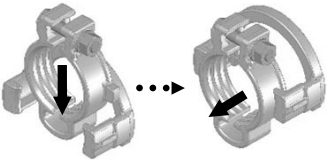
SRとC形連結を合わせ、SRを上方向に抜く。



③ストップリング交換

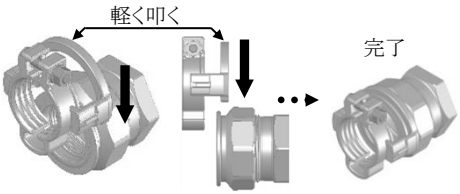
適用管用SRとC形連結を合わせ、SRを下方向に入れ、C形連結から離す。

※右図のように、ボルト・ナットを上にして、向きが逆にならないように注意する。



④C形連結取付

C形連結をキャップの外溝に合わせて、C形連結上部を木槌等で軽く叩いて入れ、完了。



(株)川西水道機器
TEL 087-805-0001（施工コールセンター）
FAX 087-877-2801

2023.06.30